

平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内中央小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分ご理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成28年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査期日

平成28年4月19日(火)

3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年（国語、算数、理科、質問紙）

中学校 第2学年（国語、社会、数学、理科、英語、質問紙）

4 本校の実施状況

第4学年	国語	33人	算数	33人	理科	33人
第5学年	国語	30人	算数	30人	理科	30人

5 留意事項

(1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。

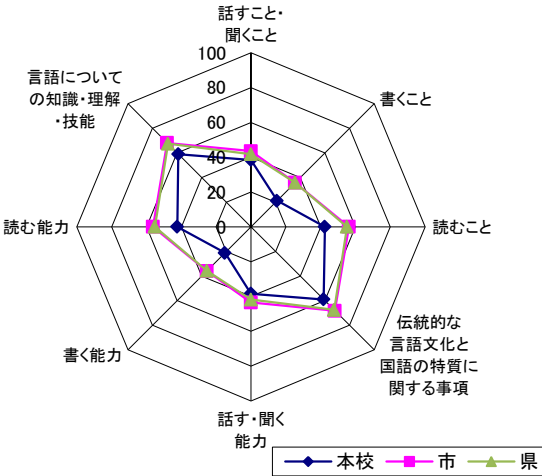
(2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。

(3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、
「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立上河内中央小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	38.4	43.5	41.8
	書くこと	21.2	35.9	35.8
	読むこと	42.4	56.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.0	68.2	67.5
観点	話す・聞く能力	38.4	43.5	41.8
	書く能力	21.2	35.9	35.8
	読む能力	42.4	56.3	55.2
	言語についての知識・理解・技能	59.0	68.2	67.5



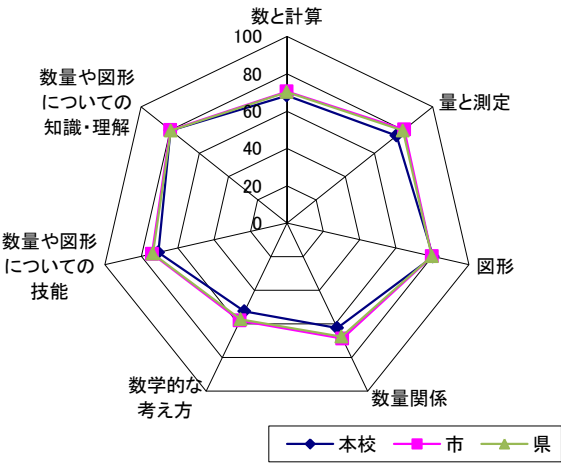
★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話す・聞く能力を問う問題では県・市の平均を上回っている。 ●話合いの場面では県、市平均を下回っており、聞くことのほうが苦手である。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・グループ指導を増やしていき、授業中での話合いの場を多く設定する。
書くこと	●記述・要約などといった、問題から読み取り、自分の意見に直すことの正答率が低い。	・日頃の作文指導の際に、二つの内容を一つの内容にまとめることに気付けさせて継続的に指導していく。その際、伝えたいことに必要かどうかの選択に注意して段落を構成するよう指導する。
読むこと	○指示語(これ)の内容理解については県・市の平均を上回っている。 ●文章を読んで、登場人物の気持ちを読み取ったり、関係性や役割を捉えたりすることの正答率が低い。	・物語文の学習では、登場人物の気持ちや関係性などを読み取る力をつけるために、読書タイム等を活用して、読書に関しての興味関心を高める。 ・図書室の利用や図書の紹介等を取り入れて、物語を読む機会を多く作る。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●漢字の書き取りが低く、すべての漢字で県・市の平均を下回っている。 ●基本的な漢字の読みについてはできているが、送り仮名などが入ると正答率が下がる。	・漢字の書き取りを繰り返し行いながら、送り仮名に注意させた読み取りも行っていく。必ず見直しをすることを習慣化させる。

宇都宮市立上河内中央小学校 第4学年【算数】 分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	68.4	70.5	70.3
	量と測定	75.2	80.4	79.6
	図形	80.3	79.8	79.7
	数量関係	62.3	68.7	67.5
観点	数学的な考え方	52.4	58.0	57.2
	数量や図形についての技能	70.7	74.1	73.7
	数量や図形についての知識・理解	79.7	79.9	79.5



★指導の工夫と改善

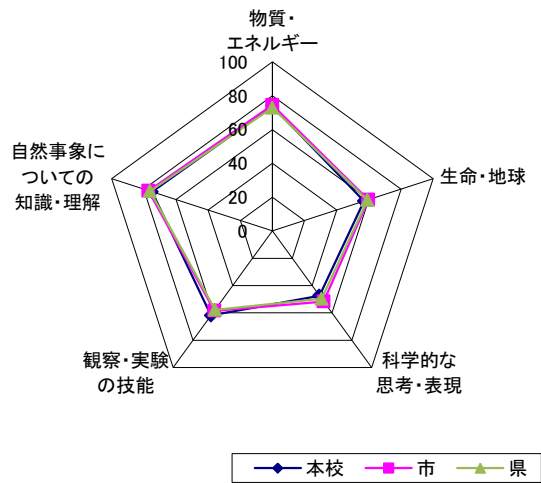
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●校内正答率は68.4%であり、県の平均よりやや下回っている。 ○答えが4位数になるたし算は2.5ポイント、3けた×1けたのかけ算は3.9ポイント、県の平均を上回る。 ●整数－小数の正答率が、県の平均より12.2ポイント低く、他の計算に比べても低いことが分かる。	・朝の学習の時間を活用してドリルやプリントなどで繰り返し行わせることで、計算力をしっかり身に付けさせたい。 ・位取りを見やすくしたノートの使い方 に、今後も継続して取り組ませていきたい。 ・小数のしくみについて、授業で再度指導するとともに、宿題プリントなどで十分理解させていきたい。
量と測定	●校内正答率は75.2%であり、県の平均より4.4ポイント低い。 ●秒で表されたものを分に換算する問題では8.0ポイント、身の回りのものからおよそ1kgのものを選ぶ問題では9.0ポイント県の平均を下回る。 ○kmで表されたものをmの単位に換算する問題は、県の平均をやや上回る。	・時間や重さ、長さの単位や単位変換については、日常生活の中から課題を見つけ、自ら解決する活動を通して、習熟を図れるようにする。身近なところに時間や量感を体感できる場を設定したり、授業の中でも繰り返し指導したりすることにより、定着を図っていく。 ・線分図の理解に関しては、個別指導を充実させていくようにする。
図形	○校内正答率は80.3%と、市や県の平均と比べて0.5ポイントであるが、やや上回っている。 ○円の直径を選ぶ問題では、校内正答率は97.0%と、理解している児童が多い。 ●与えられた1つの辺から正三角形を完成させる問題では、校内正答率が75.8%であり、県平均より7.1ポイント低い。	・基礎的な知識はほぼ身に付いている。今後は、正確に作図ができるようにするため、作図の手順やコンパス・三角定規の使い方をしっかり理解させるとともに、少人数指導などの指導方法等を導入したり、ワークシートを工夫して復習を重ねたりしていく。
数量関係	●校内正答率は62.3%と、県の平均と比べて5.2ポイント低く、他の領域と比べても正答率が大きく下回っている。 ○棒グラフの1目盛りの大きさを読み取る問題では、校内正答率は97.0%と、ほとんどの児童が正解している。 ●除法について余りを適切に処理し、理由を書く問題は、正答率が9.1%と、正解者が少ない。	・練習問題を行わせるときは、計算練習に偏ることなく、文章題に取り組ませたり、自ら問題を作ったりする学習も意識して取り入れるようにする。 ・筋道を立てて考えさせたり発表させたりする活動を多く組み入れる。 ・問題場面を理解し、問われていることを把握するために、文章中のキーワードにマークを書き込んだり、求められているものに印をつけさせたりする活動を行っていく。

宇都宮市立上河内中央小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	74.0	74.5	72.9
	生命・地球	57.0	59.8	59.2
観点	科学的な思考・表現	47.4	51.6	49.7
	観察・実験の技能	61.8	58.4	57.7
	自然現象についての知識・理解	74.9	77.0	76.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○校内正答率は74.0%であり、1.1ポイント県の平均を上回る。 ○反射させた光を当てるための鏡の向け方を選択して答える問題では、校内正答率は100%で7.7ポイント県の平均を上回る。 ●磁石の異極は引き合い、同極は退け合う性質について選択して答える問題では、9.3ポイント県の平均を下回っている。 ○電気を通すつなぎ方を選択して答える問題では、校内正答率は21.2ポイント県の平均を上回る。 ○どのような性質を基準にして分類したか短答式で答える問題では、5.0ポイント県の平均を上回る。 ●銅の性質をもとに分類し、その理由を記述で答える問題は、12.3ポイント県の平均を下回っている。	・関連のある単元の時に復習を行うことや、復習プリントを出すことで基礎的な知識・理解をさせたい。 ・実験の結果から考察を書く際に、自分の考えを文章でまとめて書くことで、科学的な思考・表現を育てていく。 ・授業で記述をする場面を多く設け、その際に個別指導を徹底し確かな理解へとつなげる。
生命・地球	●校内正答率は57.0%であり、2.2ポイント県の平均を下回る。 ●植物の体のつくりの特徴について選択して答える問題では、9.2ポイント県の平均を下回る。 ○虫眼鏡の正しい使い方について選択して答える問題では、6.5ポイント県の平均を上回る。 ●植物の育ち方をもとに適切なグラフを選択して答える問題では、10.5ポイント県の平均を下回る。 ○昆虫の体の色とすみかの記録をもとに考察し、選択して答える問題では、13.6ポイント県の平均を上回る。 ●かげの向きは太陽の動きによって変わることについて選択して答える問題では、15.9ポイント県の平均を下回る。 ○温度計の目盛りを正しく読み取ることにに関して選択して答える問題では、5.1ポイント県の平均を上回る。	・一人一人に、実験用具を準備したり、実験する機会を設けたりすることでさらに理解の定着を図る。 ・関連のある単元や、同じ実験器具を使う場面では、既習の内容を事前に確認し、基礎・基本の知識・理解へとつなげたい。 ・植物を扱う単元では、一年間を通して継続的に指導をしていく。

宇都宮市立上河内中央小学校 第4学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「毎日朝食を食べている」と肯定的回答をした児童の割合は97.0%であり、このことから、各家庭において基本的な生活習慣の指導がなされていると考えられる。

○「次の教科などの勉強は好きですか。総合的な学習の時間」の肯定的割合は90.9%であり、宇都宮市(83.8%)栃木県(84.4%)を上回った。自分で調べたり、まとめたりすることに意義を感じ、積極的に取り組んでいることが分かる。

○「誰に対しても、思いやりの心をもって接している」の肯定的割合は90.9%であり、宇都宮市(86.4%)栃木県(84.5%)の肯定割合より大幅に上回った。相手の気持ちを思いやり考えながら話を聞いたり、話をしたりして人間関係を深めていることが分かる。

○「家で学校の宿題をしている」と肯定的回答をした児童の割合は93.9%で、9割以上の児童が家できちんと宿題をする習慣が身に付いていることが分かる。

●「食事のとき、好き嫌いをしないで食べている」と肯定的回答をした児童の割合は48.5%であり、宇都宮市(77.7%)栃木県(75.4%)を大きく下回っている。学級活動の時間などを活用して、自分たちの食生活について見直す時間を設け、意識の向上を図っていく必要がある。

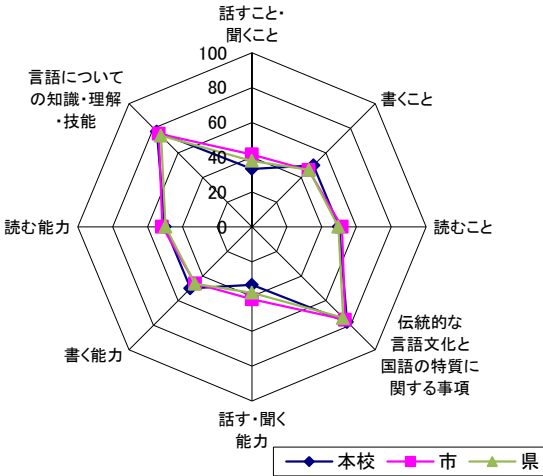
●「本やインターネットなどを利用して、勉強に関する情報をえている」と肯定的回答をした児童の割合は、27.3%であり、宇都宮市(40.8%)栃木県(39.6%)を下回った。授業中にインターネットや本を使って調べる時間を意図的に設けるなどして、進んで調べようとする意欲を育てていく必要がある。

●「授業の最後に、学習したことをふり返る活動をよく行っている」と肯定的回答をした児童の割合は、48.5%と、宇都宮市(66.1%)栃木県(67.3%)を下回っている。ふり返りの仕方など単元に応じて工夫し、学習の定着を図っていききたい。

宇都宮市立上河内中央小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	33.3	41.6	37.9
	書くこと	50.0	46.1	46.3
	読むこと	50.0	51.6	49.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.3	75.6	74.0
観点	話す・聞く能力	33.3	41.6	37.9
	書く能力	50.0	46.1	46.3
	読む能力	50.0	51.6	49.7
	言語についての知識・理解・技能	77.3	75.6	74.0



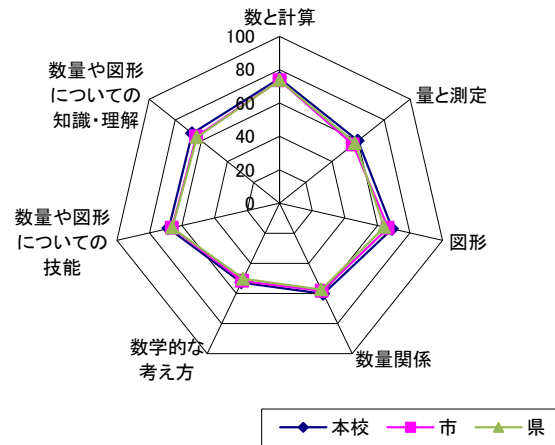
★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●県の正答率より約4ポイント程低い。 ○話す力及び聞く力については、課題が見られる。特に、「提案者の役割を理解し、話し合いに参加すること」や「話し合いにおいて司会者の役割を理解し進行する力」が十分ではない。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・授業中の発表に関して、基本的な話型をもとに、継続的に指導を行う。 ・朝の会や帰りの会の中でのスピーチ活動では、児童の興味関心を高めるようなテーマを取り上げ、継続した指導により、話す力や聞く力を身に付けさせる。 ・国語はもとより会話科や他の教科・領域においても、互いに話したり聞いたりする機会や場の設定を工夫し、互いの意見を尊重した話し合いができるようにする。
書くこと	○県の正答率を4ポイント程上回っている。 ○「資料と話し合いを基に、学級新聞に付け足す文を記述すること」については、県の正答率を上回っている。	・行事の際の作文指導や日頃の日記指導等については、主題の設定及び主語述語の関係や修飾語の使い方について、個別指導を充実させる。 ・その際、事柄のまとまりや前後の文の関係、また接続語の使い方等に気を付けながら段落を構成するよう指導する。
読むこと	○県の正答率とほぼ同じである。 ○「文学作品の内容について、本文中の言葉『同じ言葉』が指す内容を捉えること」また「新聞の作成について、必要な情報を読み取り、学級新聞の見出しを選択すること」については、市・県の正答率を上回っている。 ●「叙述を基に、登場人物の気持ちを想像して読むこと」については、市・県の正答率をやや下回った。	・物語文の学習では、登場人物の心情の変化や情景の変化を読み取る力をつけるために、読書タイム等を活用して、読書に関する興味関心を高める。また、図書室の利用や図書の紹介等を取り入れて、物語を読む機会を多く作る。 ・説明文の学習では、接続語や問いかけの文等をポイントに、段落ごとの関係や全体の組み立て方等について指導していく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県の正答率を3ポイント程上回っている。 ○漢字の読みについては、市・県の正答率を上回っている。 ○「文の主語と述語の関係について」また、「ことわざの使い方について」は、市・県の正答率を上回っている。 ●漢字を書く力については、十分とは言えない。	・日頃から文章を書く際には、漢字の送り仮名に注意しながら、既習漢字を適切に意識して使うよう指導する。 ・家庭と連携して、漢字のドリル学習を進め、慣用句やことわざ等も適宜紹介しながら継続的に指導に当たる。

宇都宮市立上河内中央小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	74.8	73.6	73.7
	量と測定	60.0	56.2	57.7
	図形	69.2	66.5	64.2
	数量関係	60.3	58.4	57.5
観点	数学的な考え方	52.7	51.7	50.3
	数量や図形についての技能	68.2	66.1	65.9
	数量や図形についての知識・理解	67.1	64.0	63.5



★指導の工夫と改善

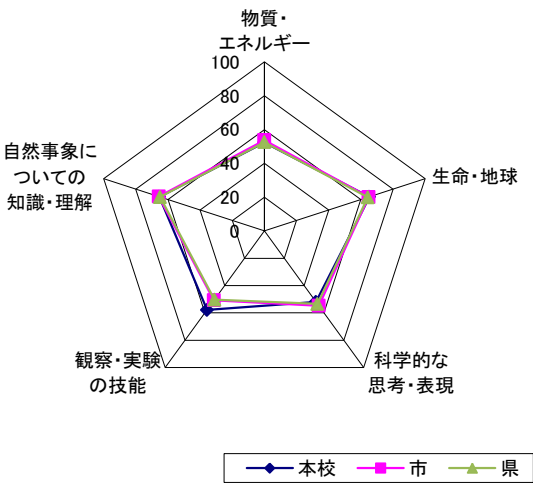
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○校内正答率は74.8%であり、市平均と比べて1.2ポイント、県平均と比べて1.1ポイント高い。 ●「 $55.2 \div 23$ (割り切れるまで計算しましょう)」の問いでは、校内正答率が56.7%であり、市平均と比べて13.7ポイント、県平均と比べて14.2ポイント低い。 ●「75460を四捨五入して、千の位までのがい数にしましょう」の問いでは、習熟度に差がある。	・小数の除法などの計算の仕方について、個別に指導し、習熟を図る。 ・四捨五入の方法と、「○○の位までのがい数」という時にどの位を四捨五入するべきか全体で再度確認する。 ・具体物を活用しながら、小数の大きさの概念が理解できるよう、習熟を図る。
量と測定	○校内正答率は60.0%であり、市平均と比べて3.8ポイント、県平均と比べて2.3ポイント高い。 ○角度を求める問いでは、校内正答率が76.7%であり、市平均と比べて16.9ポイント、県平均と比べて20.0ポイント高い。 ●複合図形の図に適した式を選ぶ問いでは、習熟度に差がある。	・ 90° 、 180° 、 360° 等の角の大きさについて再度確認し、定着を図る。 ・図から導いた自分の考えを正確な式に変換する作業を繰り返し指導し、日常生活にも活用させていくようにする。
図形	○校内正答率は69.2%であり、市平均と比べて2.7ポイント、県平均と比べて5.0ポイント高い。 ○ひし形を対角線でわけた図形が二等辺三角形になる理由を述べる問いでは、校内正答率が43.3%であり、市平均と比べて8.3ポイント、県平均と比べて12.5ポイント高い。 ●ひし形を対角線で分けた図形が二等辺三角形になる理由を述べる問いでは、習熟度に差がある。	・各図形の特徴について個別に確認し、習熟を図る。 ・立体図形等の具体物を操作、活用しながら、実感を伴った理解を推し進めていく。
数量関係	○校内正答率は60.3%であり、市平均と比べて1.9ポイント、県平均と比べて2.8ポイント高い。 ○買い物の場面で1つの式に表し、おつりを求める問いでは、校内正答率が46.7%であり、市平均と比べて13.4ポイント、県平均と比べて15.8ポイント高い。 ●テープ図の問いでは、校内正答率が60.0%であり、市平均と比べて7.7ポイント低い。また、習熟度に差がある。	・式をテープ図に表す学習、テープ図を式に表す学習を積極的に行い、その方法の定着を図る。また、日常的に活用できるようにする。 ・グラフから情報を読み取り、それを元に分析したことを説明する言語的な学習を推し進める。

宇都宮市立上河内中央小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	52.4	53.7	52.5
	生命・地球	65.3	64.9	64.3
観点	科学的な思考・表現	51.9	54.7	53.4
	観察・実験の技能	57.8	50.8	50.3
	自然事象についての知識・理解	65.4	65.7	64.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	●校内正答率は、52.4%であり、県平均より1ポイント低く、市平均より1.3ポイント低い。 ○「水から氷になるとき、体積が大きくなること」がわかる」の本校正答率は80%で、県平均より22.2ポイント・市平均より20.2ポイントよくできている。「水中から出てくる泡が水蒸気であることが分かる」では、本校正答率は46.7%であり、県平均より6.2ポイント・市平均より5.7ポイントできている。 ●「空気を押し入れたときに水が噴き出す理由を考察する」では、できる子とできない子との差が大きい。また、次の「金属が冷やされたときの体積の変化が分かる」でも、できる子とできない子との差も大きい。「分かったことをもとにコップが割れる理由を推測する」では、記述式の解答になっているが、本校正答率が16.7%であり、県平均より7.2ポイント、市平均より9ポイント低い。	・「空気を入れて押したときに水が噴き出す理由を考察する」では、習熟度別の指導を取り入れる。 ・「金属が冷やされたときの体積の変化が分かる」では、できる子とできない子との差が大きく、個別に指導し習熟を図る。 ・「分かったことをもとにコップが割れる理由を推測する」では、記述式の解答になっているので、教科書や問題を解かせて解答できるようにさせる。
生命・地球	○本校正答率は65.3%であり、県平均より1ポイント高く、市平均より0.4ポイント高かった。 ○「星座早見の月日と時刻の合わせ方が分かる」では、本校正答率が80%と高く、県平均より16.9ポイント、市平均より15.8ポイント高い。 ●「星や星座の見える位置と並び方について分かる」では、できる子とできない子との差が大きい。	・日常生活の中で、星の並び方や星座の見える位置について、星の並び方は時間が経ってもそのままの並び方で移動していくことや星座の見える位置は月日を経つと移動していくことを、個別に復習をして定着させるようにする。

宇都宮市立上河内中央小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」に対する肯定割合は90%であり、宇都宮市と県を上回っている。学習意欲が高く、進んで学習に取り組む児童が多いことが伺える。

○「学校での役割や係の仕事に責任をもって取り組んでいる」に対する肯定割合は93.3%であり、高学年としての自覚をもち、意欲的に活動していることが伺える。

○「授業を集中して受けている」が93.3%、「次の学習は将来のために大切だと思いますか 国語・社会・算数」が93～96%と、高い値を示している。目標をもって集中して授業に取り組み、成果を振り返るという基本的な学習態度が身に付いているといえる。今後は、他の教科にも意欲をもって取り組んでいけるよう指導を続けたい。

○「ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある」が93.3%であり、ほとんどの児童が最後までやりとげることのうれしさを感じていることがわかる。今後も、学習活動や学校行事を通して、児童がさらにより良い方向へと自分を伸ばしていけるような、好ましい環境づくりを心がけていきたい。

●「毎日、朝食を食べている」に対する肯定割合は100%であり、宇都宮市と県を上回っているのに対し、「食事のとき、好き嫌いをしないで食べている」は70%と、低くなっている。家庭科の時間や給食の時間を通して、食事の栄養バランスや、食べ物を大切にする心、感謝する気持ちを持って食事をする事等の、さらに丁寧な指導が必要であると考えられる。

●「家で、学校の宿題をしている」「学校の宿題は、自分のためになっている」が100%であるのに対し、「学校の宿題は、やりたくなる内容だ」は43.3%、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」は30～33.3%と低い値を示している。家庭での学習は大切であると理解はしているが、学習内容については、検討が必要であるとともに、児童への意識付けを図っていきたい。

●「将来の夢や目標をもっている」は60%と低く、県や市を30ポイント近く下回っている。高学年としての学習活動や係活動などを通して、個や学級のよさを共有できる時間を設けて賞賛し、自分のよさを他者へ生かす貢献的な態度を意識させていきたい。